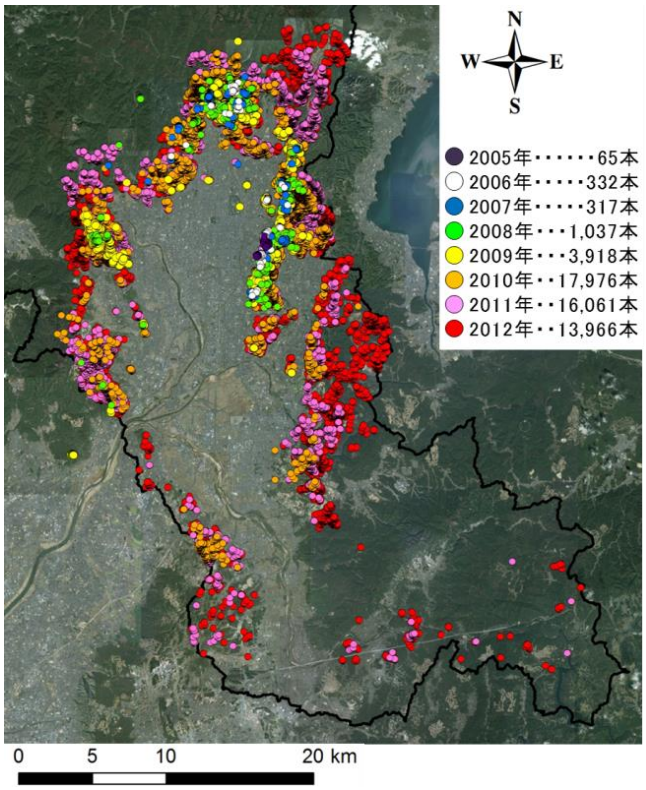
樹木病害虫のIPM（総合的病害虫管理）防除の確立

（農林センター）

カシノナガキクイムシ
（*Platypus quercivorus*）

樹木病害虫のIPM防除方法の検討の結果、環境にやさしく、低コストで防除できる方法を確立



京都市市街地周辺の枯死木の推移

ヘリから撮影した被害状況（大文字山／2010年）

宝ヶ池公園

カシナガが嫌う臭い
（ヒノキ木くず）の利用

建勲神社

防虫ネットの被覆

薬剤に頼らないナラ枯れの防除法

- ヘリから撮影した写真やGoogleEarthによる枯死木の把握方法の確立
- ウレタンによる脱出防止、防虫網やヒノキ忌避剤による穿孔防止、ペットボトルトラップによる大量捕獲法を開発
- 特に、最終年度においてはペットボトルトラップ改良型のカシナガトラップを使った総合防除法により、建勲神社で枯死本数ゼロを達成
- 被害木を木質バイオマスとして、餌木、炭および薪にして有効利用

- **確立した防除方法は、環境に優しく（薬剤をほとんど使用せず）安全で重労働も必要ないことからボランティアでも実施可能な防除方法であるため、滋賀県、大阪府、奈良県などにおいても普及しています。**

平成25年度普及に移す試験研究成果

問い合わせ先：森林技術センター　0771-84-0365